

第3学年 保健体育科(保健分野) 年間単元指導計画

月	単元名	単元の学習内容	単元の評価規準	主な評価方法
7 8 9 10	健康と環境	環境への適応能力	知 <ul style="list-style-type: none"> ・快適で能率のよい生活を送るための温熱条件や明るさには至適範囲があり、その範囲は学習や作業などの種類によって異なることを理解している。温熱条件や明るさ ・水は生命の維持や健康にとって重要であること、飲料水には水質基準があり、浄水場で浄化し検査していることを理解している。 ・室内の二酸化炭素は、呼吸などにより増加し、空気の汚れの指標となること、定期的な換気は室内の二酸化炭素の濃度を衛生的に管理できることを理解している。また、一酸化炭素は、人体に有害であることを理解している。 ・人間の生活に伴って生じた廃棄物は、その種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。 ・感染症を予防するには、発生源をなくす、感染経路を遮断する、予防接種で免疫を付けるなど体の抵抗力を高めることが有効であることを理解している。また、感染症にかかった場合は、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを理解している。 ・性感染症は、感染経路が性的接触で、感染者の粘液などに含まれる病原体に感染する病気であること、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解している。 ・エイズはHIVが引き起こす免疫の病気で、その感染経路には性的接触による感染、血液を介しての接触、母子感染があり、性的接触をしないことが予防として有効であることを理解している。 ・健康の保持増進や病気の予防には、個人が行う取り組みとともに、社会の取り組みが有効であり、地域の保健所、保健センターなどでは住民の健康診断や健康相談などが行われていることを理解している。 	
		活動に適する環境		
		熱中症の予防と手当		
		飲料水の衛生的管理		
		室内の空気の衛生的管理		
		生活に伴う廃棄物の衛生的管理		
11 12 1 2 3	健康な生活と疾病の予防	感染症の広がり方	思 健康と環境、健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて考えるとともに、自己の考えを他者に表現している。	<input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 保健学習ノート <input type="checkbox"/> グループ学習
		感染症の予防		
		性感染症の予防		
		エイズの予防		
		医薬品の利用		
		保健・医療機関の利用		
		健康を守る社会の取り組み		
		保健の学習を振り返ろう		